

道路局が所管する外郭団体の協約マネジメントサイクル に基づく評価結果について

本市では、各外郭団体が一定期間における主要な経営目標を本市との「協約」として掲げ、経営の向上を促進する「協約マネジメントサイクル」の取組を進めています。

27年度から取組を始めている「協約」の進捗状況及び経営環境の変化への対応について、横浜市外郭団体等経営向上委員会に報告し、評価や助言を受けることで、マネジメントサイクルの効果の向上及び団体経営の健全化を図っていきます。

この度、これまでの取組実績を踏まえ、経営向上委員会による評価を実施しましたので、評価結果等について御報告いたします。

1 株式会社 横浜シーサイドラインの評価結果

(1) 26年度に定めた団体経営の方向性等

ア 団体経営の方向性

「引き続き経営の向上に取り組む団体」

イ 協約の期間

平成 27～30 年度

(2) 協約目標の取組結果（抜粋）

ア 公益的使命の達成に向けた取組

取組	25年度 実績	27年度 実績	30年度 目標	進捗 状況
安全向上を図る組織（安全推進委員会）体制の強化	準備委員会 創設し検討	定例毎月1回 臨時2回 全15回開催	安全推進委員会を 毎月1回以上開催 する	順調
安全に資する訓練、研修の 継続と拡充	各種訓練、研修 の継続的实施	【安全推進】 コミュニケーション研修 (係員、中堅)	安全に係る研修の 継続2回/年 (ヒューマンエラ ー、コンプライ アンス等)	順調

イ 財務の改善に向けた取組

取組	25年度 実績	27年度 実績	30年度 目標	進捗 状況
営業収入の確保	営業収入 38億9千万円/年	営業収入 39億5千万円/年	営業収入 37億5千万円/年	順調
純利益の確保	純利益 5億4千万円/年	純利益 3億6千万円/年	純利益（=累積損 失圧縮額）7億円 /期間累計	順調

ウ 業務・組織の改革

取組	25年度実績	27年度実績	30年度目標	進捗状況
体系的な研修計画に基づく階層別研修を実施し、社員個々の能力開発、人材育成に取り組み、企業力向上と課長職へ固有社員の登用を進める。	新入社員研修(ビジネス基礎)、社員全体研修(ヒューマンエラー防止)、社員全体教育(運輸安全管理)	新入社員研修(ビジネス基礎) 【安全推進】コミュニケーション研修(係員、中堅) 階層別研修(係員・中堅・リーダー)	27年度から新たに階層別研修(6回/年)を実施する他、業務上必要な資格習得に関する研修を受講(2回/年)	順調

(3) 協約目標設定後に生じた課題等

車両更新等、大型の設備投資が行われ減価償却費の負担は増えていますが、沿線環境の変化を見据えた様々な増収対策を実践したことで、平成27年度は、1日あたり5万1千人以上のお客様の御利用をいただき、単年度黒字の継続、累積損失額の減少を着実に進めることができました。今後については、消費増税時期の変更が見込まれるため、収入予算、経費等の計画変更が生じる可能性があります。

(4) 28年度経営向上委員会の評価結果及び助言

評価結果	委員会助言
引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況について新たな課題は認められない。 引き続き沿線内外からの需要喚起に努め営業収入を確保し、財務の健全化を進めていく必要がある。

※委員会による評価は、以下の4つの評価分類から、団体ごとに決定しています。

- ①引き続き取組を推進 ②取組の強化や課題への対応が必要
③協約の見直しが必要 ④団体経営の方向性を見直しが必要

(5) 評価結果を受けた所管局・団体の振り返り

協約の達成状況の確認を通じて、団体に課せられた使命を担保し、今後も金沢臨海部での経済活動に必要不可欠な公共交通機関を運営する団体として、安全、安定運行を支える経営環境の維持と財務の健全化の両立に取り組めます。

2 添付資料

「平成28年度 総合評価シート」(答申抜粋 道路局所管団体部分)

平成28年度 総合評価シート

団体名	株式会社横浜シーサイドライン	所管課	道路局 企画課
協約期間	平成27年4月1日～平成31年3月31日（4か年の2年目）		

分団 類体	引き続き経営の向上に取り組む団体						
① 協約の取組状況	公益的使命の達成に向けた取組(1)		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	30年度 (目標)
	①安全向上を図る組織(安全推進委員会)体制の強化	実績 (単位)	準備委員会創設し検討	毎月1回 全12回開催	定例毎月1回 臨時2回 全15回開催	毎月1回 全12回開催	安全推進委員会を毎月1回以上開催する
		進捗 状況	-	-	順調	順調	-
	②安全に資する訓練、研修の継続と拡充	実績 (単位)	各種訓練、研修の継続的实施	ヒューマンエラー研修 コンプライアンス研修	【安全推進】コミュニケーション研修(係員、中堅)	【安全推進】事故分析、聞き取り調査、安全の人間科学論(リーダー、中堅)	安全に係る研修の継続2回/年(ヒューマンエラー、コンプライアンス等)
		進捗 状況	-	-	順調	順調	-
	財務の改善に向けた取組		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	30年度 (目標)
	①営業収入の確保	実績 (単位)	営業収入38億9千万円/年	営業収入38億6千万円/年	営業収入39億5千万円/年	営業収入39億9千万円/年	営業収入37億5千万円/年
		進捗 状況	-	-	順調	順調	-
	②純利益の確保	実績 (単位)	純利益5億4千万円/年	純利益2億9千万円/年	純利益3億6千万円/年	純利益2億4千万円/年	純利益(=累積損失圧縮額)7億円/期間累計
		進捗 状況	-	-	順調	順調	-
業務・組織の改革		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	30年度 (目標)	
体系的な研修計画に基づく階層別研修を実施し、社員個々の能力開発、人材育成に取り組む、企業力向上と課長職へ固有社員の登用を進める。	実績 (単位)	新入社員研修(ビジネス基礎)、社員全体研修(ヒューマンエラー防止)、社員全体教育(運輸安全管理)	新入社員研修(ビジネス基礎)、社員全体研修(ヒューマンエラーとその対策)、社員全体教育(コンプライアンス)	新入社員研修(ビジネス基礎) 【安全推進】コミュニケーション研修(係員、中堅) 階層別研修(係員・中堅・リーダー)	新入社員研修(ビジネス基礎) 【安全推進】事故分析、聞き取り調査、安全の人間科学論(リーダー、中堅) 階層部研修(係員・中堅・リーダー)	27年度から新たに階層別研修(6回/年)を実施する他、業務上必要な資格習得に関する研修を受講(2回/年)	
	進捗 状況	-	-	順調	順調	-	

団体名	株式会社横浜シーサイドライン	所管課	道路局 企画課
協約期間	平成27年4月1日～平成31年3月31日（4か年の2年目）		
② 環境・状況の変化	・ 消費増税時期(平成29年4月)が変更となると、収入予算、経費等の計画変更が生じる可能性がある。		
③ 経営状況の団体	車両更新等、大型の設備投資が行われ減価償却費の負担が増えている一方、沿線の人口減少の懸念もある中で、様々な増収対策を実践してきたことで、平成27年度において1日当たり5万1千人以上のお客様にご利用いただき、単年度黒字を継続しており、累積損失額の減少に繋がっている。		
④ 今後の課題	① 少子高齢化によるお客様利用減が懸念される。 ② 新交通システム導入に関する国内外への調査事業等獲得、新たなビジネスへの展開。 ③ 開業当初から稼働していた設備更新が進み、減価償却費の負担が増えている。		
⑤ 課題への対応	沿線施設・企業とタイアップした来客イベント等の展開に努め、沿線の活性化、PR強化等に繋げ、沿線内外のお客様増と収入増を図ります。 引き続き、国内外の新交通システム導入事業の獲得に向け、商社、メーカー、コンサルティング業者と連携し、研修生の受け入れ、現地視察、導入計画の検討を行い、将来の増収効果を検証します。		
⑥ 協約の見直し	協約の見直しの必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
	【見直しが必要な理由及び協約の変更内容】		

経営向上委員会 助言

引き続き取組を推進	取組の強化や課題への対応が必要	協約の見直しが必要	団体経営の方向性 の見直しが必要
<p>協約の取組目標については順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況について新たな課題は認められない。 引き続き沿線内外からの需要喚起に努め営業収入を確保し、財務の健全化を進めていく必要がある。</p>			